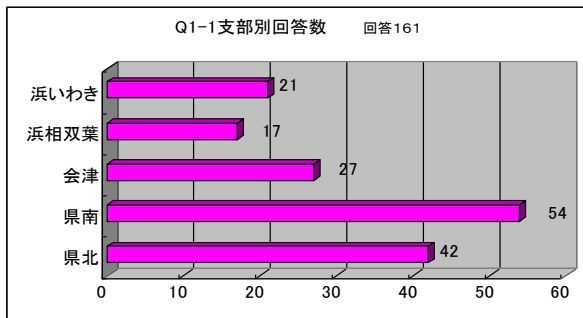


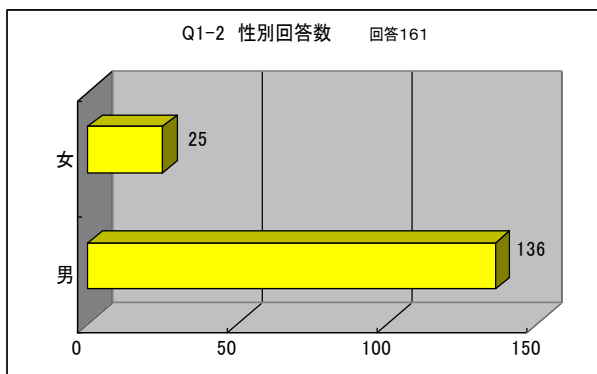
# 平成24年度 調査委員会アンケート“会員の本会に対する意識調査” 結果報告

調査委員会 佐藤久光 佐藤孝広 増子勇一 目黒昭夫 千葉雄二 大和田重義 船生晴雄 嶋田峻二 ○渡辺和夫

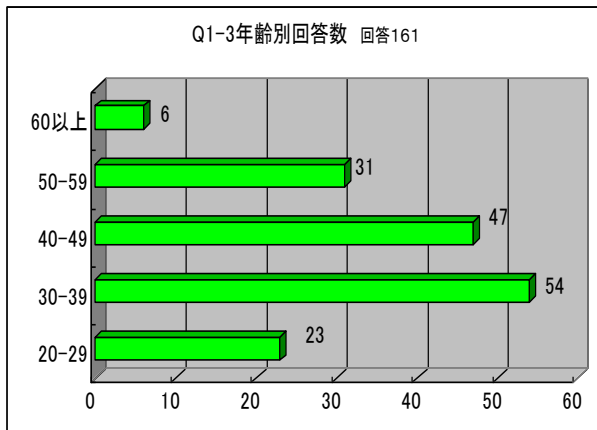
## 質問1 所属



回答者総数は161名

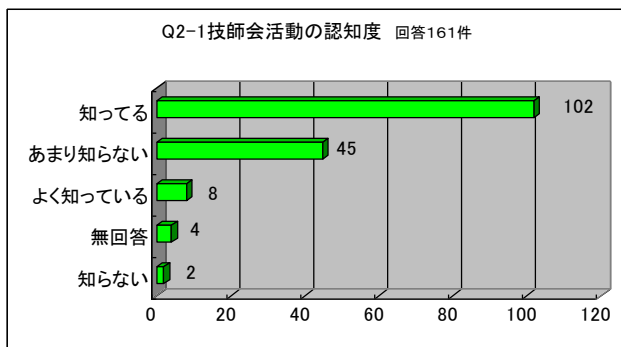


男女比は5.1

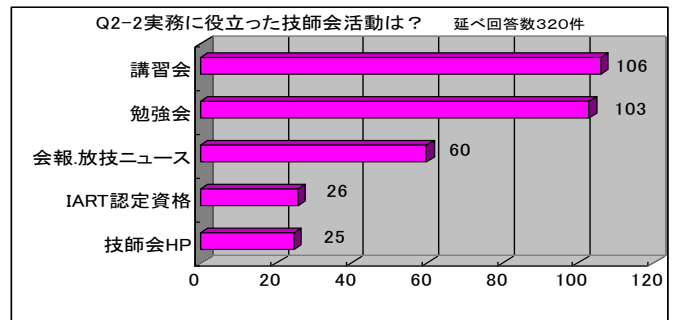


年齢構成は30代40代が6割を占めていた

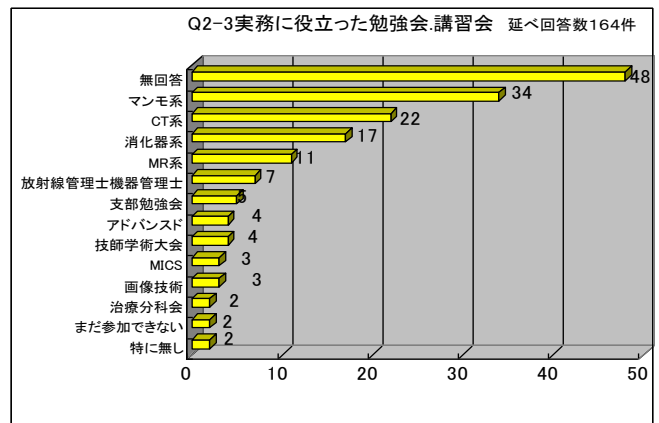
## 質問2 技師会活動



技師会活動の認知度は68%であった

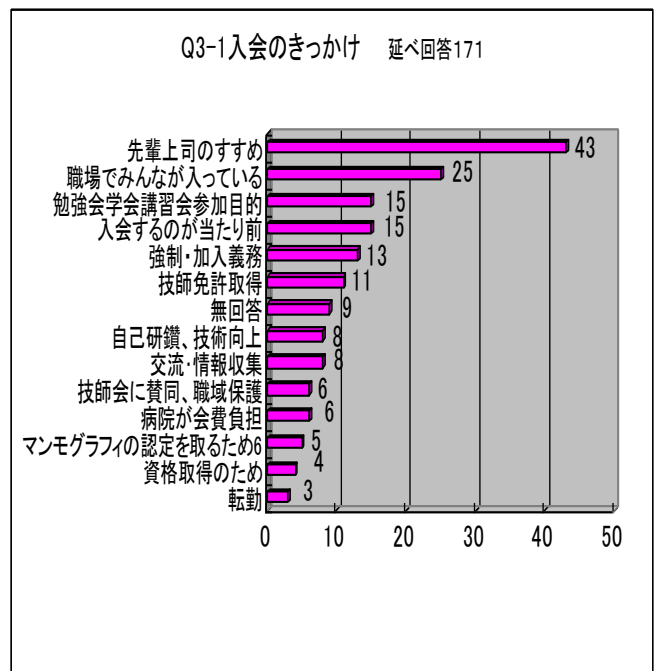


役立った技師会活動は講習会と勉強会で65%を占めた

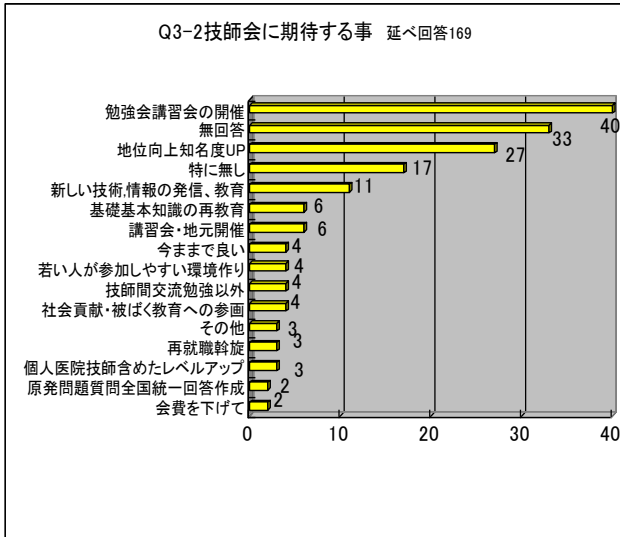


おもだった実務に役立った勉強会・講習会は、マンモ系34件、CT系22件、消化器系17件、MR系1件であった。

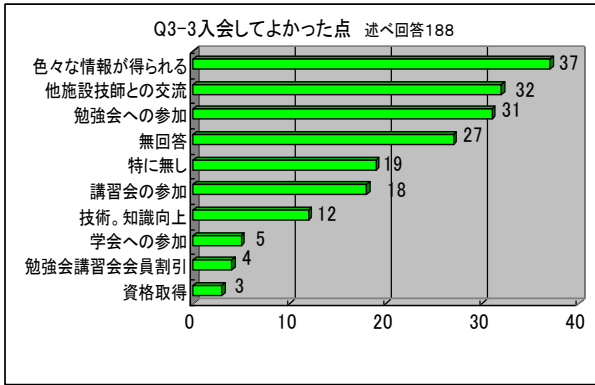
## 質問3 技師会入会・退会 (JART・FART)



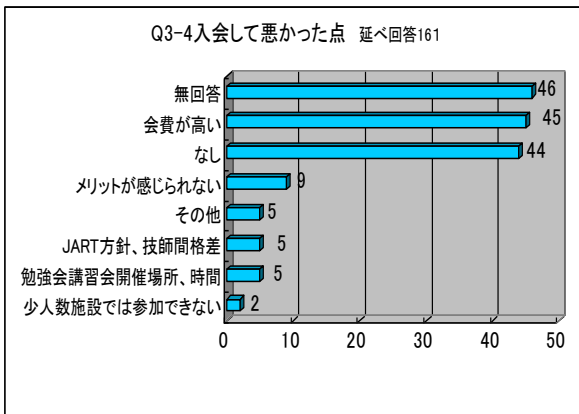
入会のきっかけは先輩上司のすすめが43件と多く強制・加入義務も13件あった。



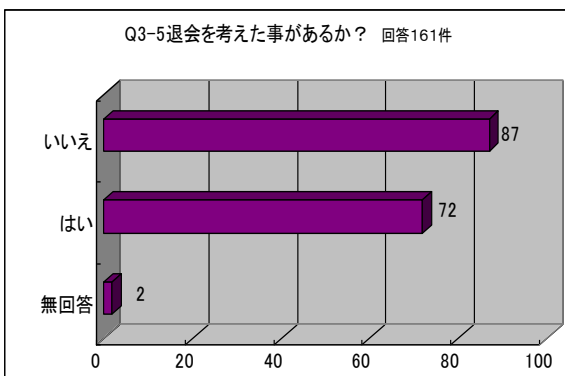
技師会に期待する事は“勉強会、講習会”に関する事がトップであった。質問2-2の実務で役立った技師会活動のTOP項目“講習会と勉強会”とよく相関している。



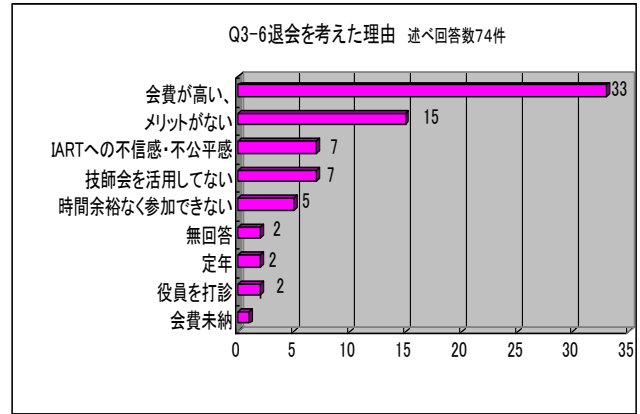
入会してよかった点TOP4は情報が得られる37件、技師間交流32件、勉強会への参加31件、講習会への参加18件であった。



入会して悪かった点では“会費が高い”が45件、“特になし”がほぼ同数の44件であった。



退会を考えた事があるかの質問では45%の会員が“はい”と回答し

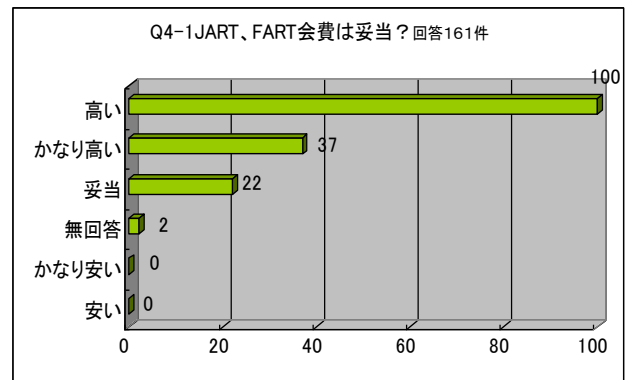


その理由トップは“会費が高い”であった

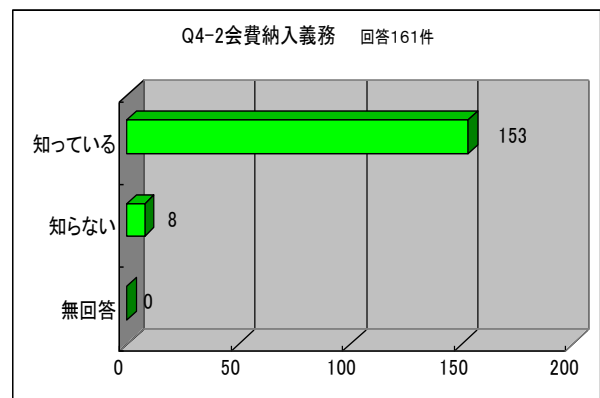
理由抜粋

- ・会費が高い、入会しなくても参加できる学会が多いので困る事がない
- ・会費に見合うだけの、メリットを感じない
- ・会費が高い(活動に比べて)
- ・勉強会などに参加出来る余裕がありませんので、どうしようかと思つた時もあった。
- ・勉強会、講習会の開催地が限られ、あまり参加できなくもつたないと感じた。
  - ・個人病院では、休みが取れず技師会の勉強やセミナーなどに参加できない。
- ・会費に見合った活動・勉強を自分ができていない。
- ・日本放射線技師会方針に付いていけず、30年あまり在籍しましたが脱会しました
- ・一度退会し再入会した者です⇒一時期の方向性に疑問を持ったため
- ・役員になったら抜けれられない
- ・定年が近い
- ・会費を期日までに払えなかった時

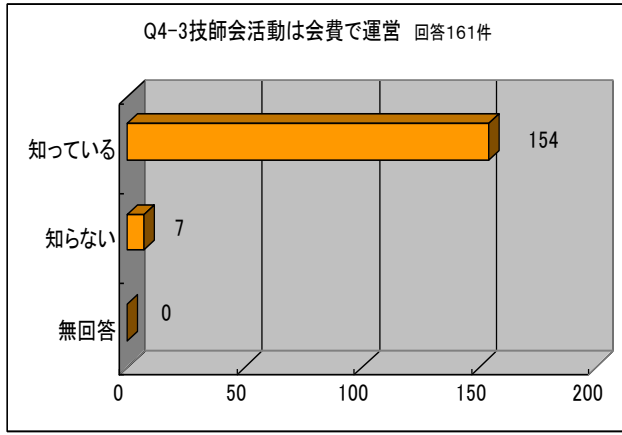
質問4 技師会会費金額は妥当か (JART、FART)



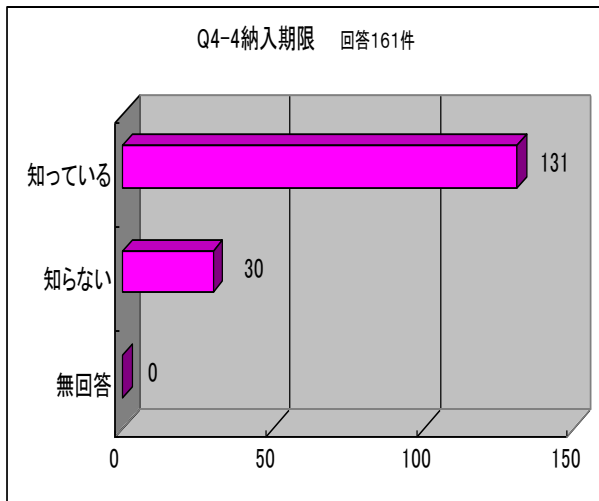
会費は妥当かの質問では“高い系”が85%を占め“妥当”は14%。“安い”と感じている会員は存在しなかった。



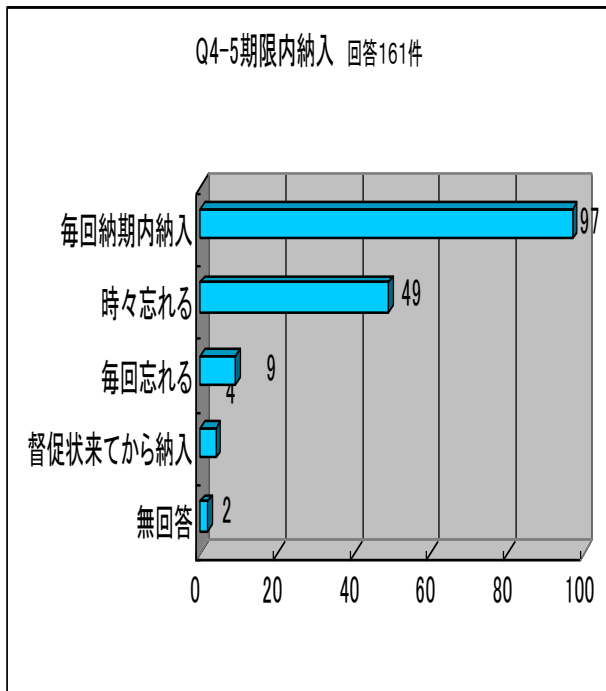
会費納入義務を知らない会員が8名いた。



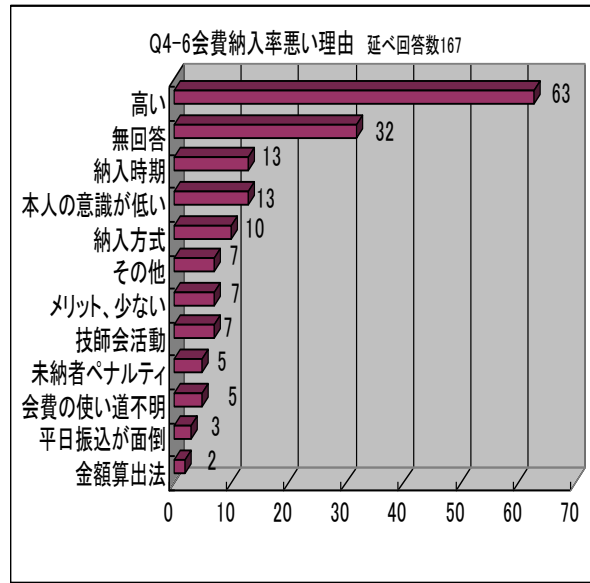
技師会活動は会費で運営を知らない会員7名



納入期限を知らない会員30名であった。Q4-6 回答に納入期限周知法の改善が必要との意見あり。



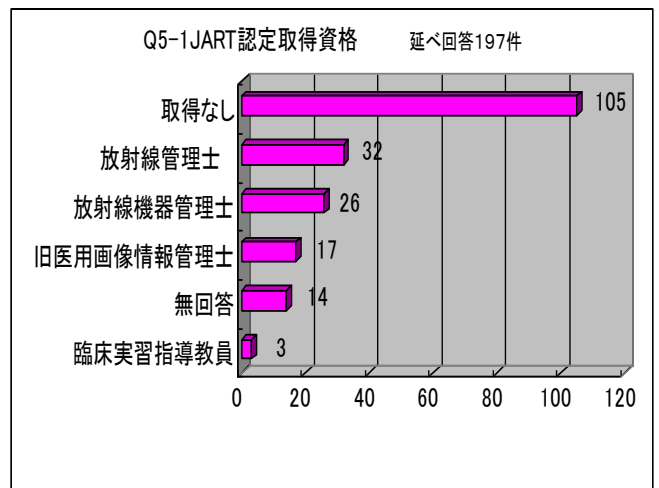
期限内納入を忘れる系は約4割を占めておりその理由のトップはまたしても“会費が高い”であった。理由を見ると年度初め請求⇒他会費と請求重なる⇒経済的負担大⇒会費が高い⇒後回し⇒振込み用紙を紛失⇒納入忘れるの図式が見えてくる。納入方法、会費算出に関する会員提案を後述の理由抜粋に示した。



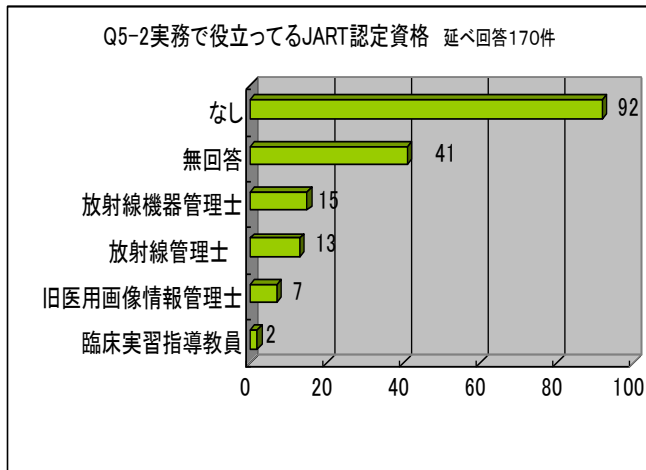
理由抜粋

- ・高すぎるわりにメリットがあまりない。特に地方の病院関係者は
- ・高い。どのように、どの位、どこで使われているかわからないから？
- ・高い、納入期限の周知徹底が甘い
- ・高い。現在の技師数に見合った会費を算出する事で会費は、下がり納入率は上がると考える(以前より技師数が増えているため)
- ・技師本人の意識が希薄な為
- ・技師会が運営する中身を会員全員が同等に享受できないからではないか
- ・技師会活動に参加しない(またはできない)技師にとっては未納で除名されても・・・と考えているのでは？
- ・会に入っただけの利益が地方になると得られず開催地が都会中心となっているため会に対しての愛が薄れていると思える
- ・会費納入が遅れてもすぐに退会させられるわけでもなく、つついのびのびになってしまう。バツサリと切ってしまうのも一策
- ・延滞金が発生しないから、すぐに支払いをしなくても大丈夫だと思ひ、そのまま支払うのを忘れてしまう。
- ・金額と納入方式。会員登録時に口座引落しもしくは、クレジット決済の手続きも必要な仕組みにしては？
- ・時期的に色々な会費の納入が重なり後まわしにして振込み用紙を紛失
- ・個人で払っているから(団体ごとにとまとめて)、払ってもそれに見合った物、事が無い、払っている実感が分らない
- ・職場で負担してくれなくなった
- ・サイフを妻がもっているから

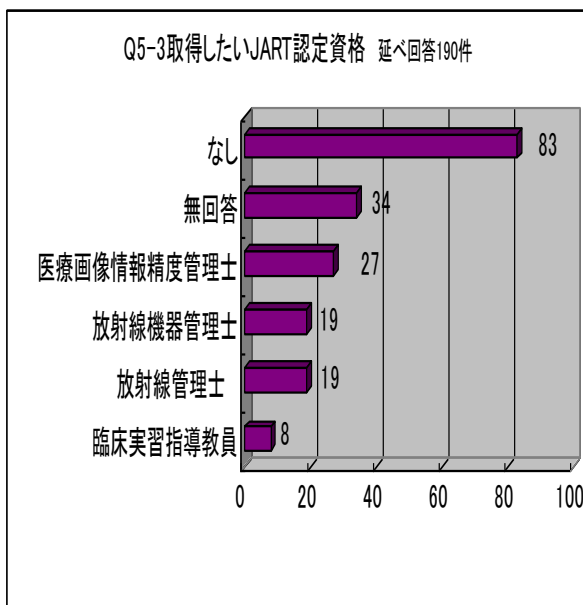
質問5 JART 認定4資格について



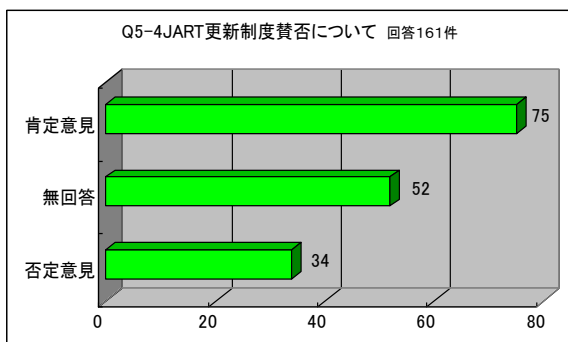
JART 認定資格取得なしは161名中105名、取得資格の順位は放射線管理士32件、放射線機器管理士26件、医用画像情報管理士17件、臨床実習指導教員3件(内1名失効)の順であった。



実務で役立ってる JART 認定資格では、“該当なし”が161名中92名、放射線機器管理士15件、放射線管理士13件、医用画像情報管理士7件、臨床実習指導教員2件の順であった。



取得したい JART 認定資格では、“該当なし”が161名中83名、新設された医療画像情報精度管理士27件、放射線機器管理士19件、放射線管理士19件、臨床実習指導教員8件の順であった。



更新制度の賛否では肯定75件、否定34件と賛成意見が上回っていた。

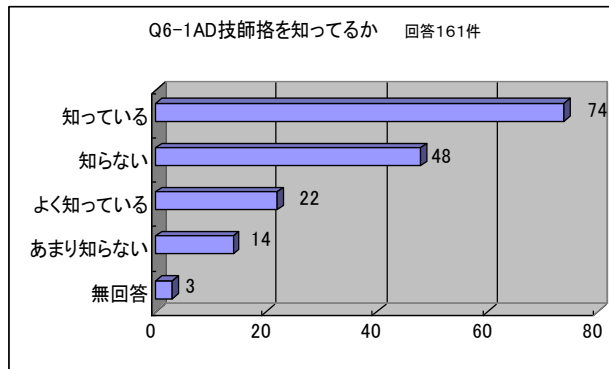
#### 1 肯定意見抜粋

- ・ちょうど良い
- ・資格の質を落とさない為には、必要
- ・新しい知識、法律が変わるので必要である。
- ・5年は妥当・福島で更新講習を望む
- ・妥当、ポイント制より試験制の方が実質的
- ・更新講習会は必要だが、試験はいらない
- ・更新方法をもっと簡単に。更新する場所が遠方すぎる

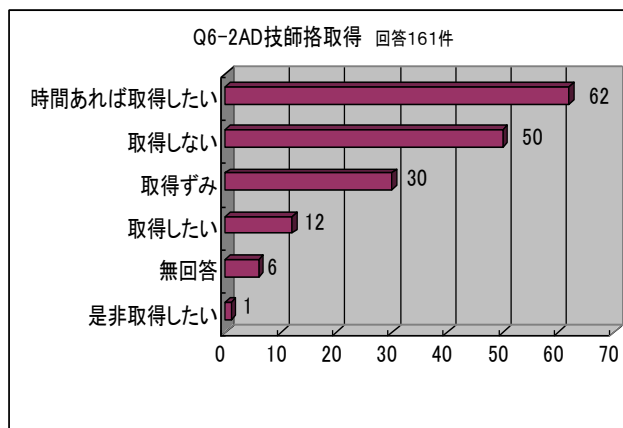
#### 2 否定意見抜粋

- ・5年短い
- ・ポイント集めにくい
- ・少数施設では時間余裕なく更新無理
- ・役に立たない
- ・病院で認められない資格
- ・学会出席、勉強会出席をしないと更新出来ない。職場によっては無理です。
- ・更新するためにセミナーなどへ行って資金がかかるわりには、メリットがない
- ・更新しない（流す）人が多い

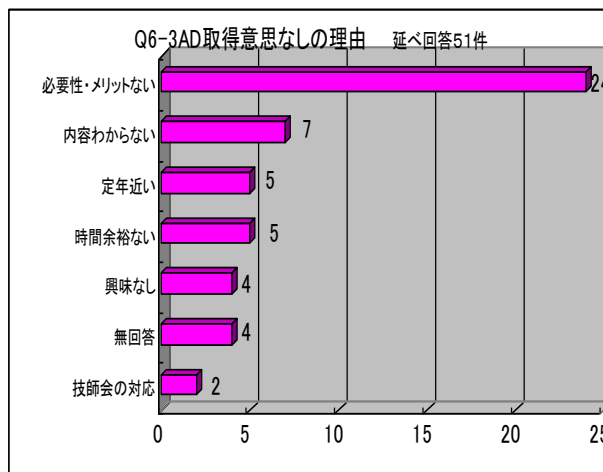
#### 質問6アドバンスド技師格について



AD 技師格の知名度は60%であった



AD 技師格取得意思は、時間あれば取得したい62名、取得しない50名、取得済み30名、取得したい12名であった。



前門で取得しないを選んだ理由のトップは必要性メリットなしであった。

## 意見抜粋

### 1) 必要性・メリットない

- ・診療放射線技師ですらない人がいる中で、アドバンスドを取得しても他職種や経営者からは何の理解も得られない
- ・試験には合格したが申請はしていない。仕事をしていくうえで「技師格」が特に必要だとは思わない。知識は必要です。
- ・取得したからといって給料に反映しない
- ・現在の業務では必要性を感じないことと、50台前半という筆者の年齢での取得には限界があるかと思われるので
- ・認定資格と違って取得にあまり有用性を感じないから
- ・あまりメリットを感じられないし、取得に時間、費用がかかりすぎる。

### 2) 時間余裕ない

- ・1ないし2人職場においては技師格取得の為の勉強会講習会に参加する時間が確保できない。
- ・日常業務で精一杯である
- ・時間に余裕がない。日常の業務では必要ない。

### 3) 技師会の対応

- ・最初年度は技師会がback upしてくれたが、以降は自分でやれという無責任、技師会の金もうけ？
- ・一度は、講習会等をやったが、その時、受講できない人に対し、ビデオ学習でOKとか、基準があいまい。

・それなりの知識と技術が必要な CT、MRI、MDL、DDL の認定技師。

### 3) MDL、DDL 認定資格

- ・胃がんX線検診認定: 胃がん検診を行っており、技術向上と対外的な説明のため。

### 4) 原発事故被ばく・除染関連資格

- ・放射能の専門的な知識を有した人に与える資格。(不安を抱いている人に分かりやすく説明できる人)
- ・放射線管理士のような現在必要とされている放射能や被ばく等に長けている技師格。”安心”を説明できるように
- ・原子力発電所関連の汚染の測定等の資格

### 5) 読影認定技師

- ・画像読影補助の一環として
- ・各モダリティごとの読影資格・・・写真を撮影するだけではなく読影まで行うのが技師だと思うので

### 6) サーバ管理、画像処理、ネットワーク

- ・デジタル化が進んでいるのでサーバー管理系の資格
- ・他院データの取込み、持ち出しの基準があれば知りたい
- ・ワークステーション操作の認定技師
- ・医療情報技師。工事担当者。システムアドミニストレータ。ネットワークスペシャリスト。
- ・撮影もアナログからデジタルに移行する上で画像管理などでネットワークの重要性が高まっている。

### 7) 超音波認定資格

- ・侵襲がなく Consent 1 つで検査ができ経営にも良い

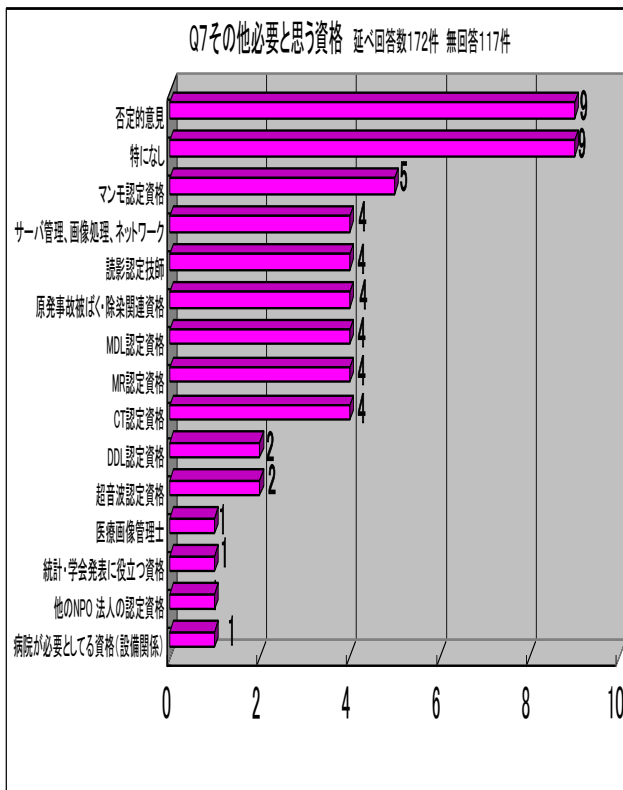
### 8) 他の NPO 法人の認定資格

- ・他の NPO 法人などがやっている「認定資格」(一部共催している MMG や CT 以外)を技師会からも申込や受講できれば良い

### 9) 否定的意見

- ・資格取得での技師間の格差が生じている。技師会が間違った方向に進んでいると思います。本当に上記の資格は意味あるのか否か？
- ・いろいろな学会が参加し認定しているものは資格として認知されるが職能団体である技師会が認定する資格は認知されない。
- ・現在、技師会の認定は業務上必要としていない。
- ・資格よりも資質の方が重要。資格により業務制限が出来るか？
- ・小規模病院等で無資格者や看護師で対応している所があり放射線技師の社会的評価は磐石ではない。
- ・技師の仕事に対する姿勢等やる気の資格を考えた方が良い

## 質問7 その他業務上必要と思われる資格とその理由



その他業務上必要な資格はグラフのとおり

## 理由抜粋

### 1) マンモ認定資格

- ・求人条件でマンモグラフィ認定資格取得者をよくみうけられるから
- ・検診マンモグラフィ撮影技術認定: 検診マンモグラフィ撮影を行うにあたり必要であるため。
- ・マンモ・現在マンモ撮影は精中委が講習会受講者が行なうのが望ましい言っている。今後必要になるかも？
- ・マンモ・MDLなど特に健診業務において、資格取得が必要だと思う。社会のニーズに対応しなくてはならない

### 2) CT、MR 認定資格

- ・CT や MR の専門技師。特にこの2つは需要の多い検査だから

## 結語

今回初めて会費、JART 認定資格、アドバンスド技師格に踏み込んだアンケートを実施した。意見が多岐わたる項目は意見抜粋形式で掲載した。この結果は11月11日の県学術大会で報告された。あわせて技師会ホームページにも掲載した。

結びに今回アンケート回答に協力された方々に感謝申し上げます。